

明日を拓く 輝く「ふじの人」づくり

～令和5年度全国学力・学習状況調査から考える～

富士市教育委員会

4月に全国学力・学習状況調査が行われました。実際の生活を想定した問題が多く出題され、学校で学んでいることや家庭での経験を日常の別の場面に生かす力や、自分の考えをもち伝える力が身に付いているかが問われました。

本リーフレットに富士市の子供たちの良いところや今後の課題等をまとめました。

令和5年度の問題例（小学校国語の調査問題より）

（正答例）

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスの良い食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたらしようと思います。（99字）

正答率（市）
54.2%

ココがたいせつ！

<条件>

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【資料2】

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気への抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちやリフレッシュなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腕立てなどの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休み時間の外遊び、大の数学、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例
軽いジョギング 縄とび（跳けてとぶ）

主に筋力を高める運動の例
腕立て 腕立てこぶせ

【資料3】

栄養素の働き

規則正しく食事をするにより、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものや好きなものばかり食べていると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいららしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの源になります。肉や卵などは、主に体をつくるものになります。筋肉がついたり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気にかかりにくくなります。

（栄養素の主な働きと食品の例）

主にエネルギーの源になる
米、パン、バターなど

主に体をつくるものになる
肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるものになる
野菜、果物など

【資料1】

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで過度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日ごろ行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさん酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力の高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

四 相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

こちらから調査問題をご覧ください。 (国立教育政策研究所HP) <https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>



初めて目にする多様な資料や情報を理解し、「自分ならどうするか」と考え、表現する力が求められています。色々な情報があふれる中、自分の課題解決に向けて、必要な情報を選択することが必要です。

教科に関する調査結果(平均正答率)から

※本調査により判定できるのは学力の特定の一部分です。

| 小学校6年生 | 平均正答率(%) | | |
|--------|----------|-----|------|
| | 富士市 | 静岡県 | 全国 |
| 国語 | 64 | 67 | 67.2 |
| 算数 | 59 | 62 | 62.5 |

| 中学校3年生 | 平均正答率(%) | | |
|--------|----------|-----|------|
| | 富士市 | 静岡県 | 全国 |
| 国語 | 67 | 71 | 69.8 |
| 数学 | 49 | 52 | 51.0 |
| 英語 | 46 | 47 | 45.6 |

富士市の子供たちは、基本的な用語の意味や計算の仕方を問われる問題の正答率が高い傾向がありました。

一方、必要な情報を読み取る力や、自分の考えを記述する力に課題が見られました。